

一攫千金の夢物語

北前船の歴史と寄港地を訪ねる旅

“ひげの梶さん”こと梶本 晃司 氏

歴史と柿の町大和五條市時空探検隊共同代表
ねぶたとよされとりの町津軽・黒石市観光大使

1947年、神奈川県生まれ。テーマを絞って歴史の物語や史跡を訪ねる「ひげの梶さん歴史探歩」の会はすでに58年余、その探歩会の開催回数は5,500回を超えました。たびまちゲート広島歴史探歩会もすでに200回を超えています。歴史と柿の町大和五條市観光戦略アドバイザーを8年務め、現在は合同会社ふるさと五條時空探検隊の共同代表を務めています。



北前船の歴史

北前船が登場する以前、蝦夷地の産物を一手に取り扱っていたのは戦国末期から松前に進出していた「近江商人」でした。彼らは敦賀で陸揚げし、琵琶湖を経由して大阪に運んで売ってさばっていました。自前で船を持つ近江商人もいましたが、多くは共同で船を仕立て船乗りを雇いました。その多くが北陸の船乗りです。この中から自分で船を得て、蝦夷地へ大阪で売ると人たちが現れ、それが北前船に発展していきました。

北前船とは大阪と蝦夷地を結んだ経済動脈船

江戸時代中頃から明治30年代にかけて、大量の荷物を積んで日本海を往來していた多くの船がありました。北前船と呼ばれる船です。「北前船とは何か」という定義には、①大阪と北海道を（江戸時代には大阪と蝦夷地）を日本海を往復していた。②寄港地で商品を売り買いしながら結んだ商船群。北前船は商船を総称する呼び名といえるようです。江戸時代、荷物を積んで海を走る船を「回船」と言いました。北前船は、寄港地で安いと思う品物があれば買い、船の荷物が高く売ればそこで売るといって「商売」をしながら蝦夷地との往復していた船です。これを「買積船」と言い、他の航路と違う最も大きな特徴です。



スマホから簡単にアクセス!

広島駅・福山駅【発着】 往復新幹線利用

広島駅・福山駅【発着】 往復新幹線利用

第一話 北前船の交易ルートを始めた近江商人発祥の地 近江八幡と航海安全祈願の住吉大社・兵庫津

2日間

近江商人発祥の地 近江八幡と北前船船頭の安全祈願・住吉大社・兵庫津を訪ねる!

出発日 (2026年) **9月15日(火) 限定**

旅行代金 (大人お一人様)	ツアーコード: DY26CL-KKJ1
2名1室 87,000円	1名1室 90,000円

■現地発着 (米原駅発・新神戸駅着) / 上記旅行代金から15,000円引き
■食事 / 朝1回・昼2回 (内、弁当1回) ■利用バス会社 / 余呉バス

行程

広島駅 (8:06) → 福山駅 (8:29) → 新大塚駅 → 米原駅 = 北淡海・丸子船の館 → 大宮神社 → 柳川港 = 近江八幡堀散策 (屋敷・喜兵衛弁当) → 八幡堀めぐり・旧西川家住宅・日牟禮八幡宮など = 大阪阿倍野 (泊)

ホテル = 大阪 住吉大社 (石塔龍群など) = 天保山 = (昼食 / 中華コース) = 西出鎮守稲荷神社 → 七宮神社 → 竹尾稲荷神社 → 清盛塚 → 兵庫大仏 → 能福寺 → 兵庫津ミュージアム = 神戸海洋博物館 = 新神戸駅 → 福山駅 (17:27) → 広島駅 (17:50)

泊まる [大阪阿倍野] 東横INN あべの天王寺
■客室タイプ / 洋室 (シングルまたはツイン)

第二話 蝦夷地開拓の先駆者 高田屋嘉兵衛の誕生地と播磨天然の良港・室津や塩田の横出港・赤穂坂越浦・備前牛窓港

2日間

蝦夷地開拓の先駆者 高田屋嘉兵衛のふるさと瀬戸内海・播磨と岡山藩の天然の良港 室津・坂越浦・牛窓港を訪ねる!

出発日 (2026年) **10月6日(火) 限定**

旅行代金 (大人お一人様)	ツアーコード: DY26CL-KKJ2
2名1室 81,000円	1名1室 85,000円

■現地発着 (西明石駅発・岡山駅着) / 上記旅行代金から10,000円引き
■食事 / 朝1回・昼2回 ■利用バス会社 / 山陽バス

行程

広島駅 (8:02) → 福山駅 (8:50) → 西明石駅 = 淡路島・江井港 (住吉神社・金比羅神社など) = (昼食 / 五色ふるさと膳) = 都志の浦散策 → 事代主神社・高田屋嘉兵衛記念館・邸宅跡・嘉兵衛のお墓・八幡神社など = 姫路市内 (泊)

ホテル = 室津海客館 → 室津の町並み → 加茂神社 → 室津城遠見番所跡など = 坂越のまち並み館 → 旧坂越浦会所 → 大遊神社など = (昼食 / えきそば御膳) = 牛窓灯籠堂跡 → 御茶屋跡 → 本蓮寺など = 尻海・若宮八幡宮 = 岡山駅 → 福山駅 (17:13) → 広島駅 (18:07)

泊まる [姫路市内] JRクレメントイン姫路
姫路駅近くのホテル、ウェルカムバー、お茶漬けサービスあり。
■客室タイプ / 洋室 (シングルまたはツイン)

広島駅・福山SA【発】 広島駅【着】 往復バス利用

広島駅【発着】 往復バス利用

第三話 瀬戸内海の天然の良港巡り 下津井港・鞆の浦・尾道港・御手洗・安芸津港

2日間

瀬戸内海・備中藩・備後藩・安芸藩の天然の良港 下津井港・鞆の浦・尾道・御手洗・安芸津港を訪ねる!

出発日 (2026年) **11月10日(火) 限定**

旅行代金 (大人お一人様)	ツアーコード: DY26CL-KKJ3
2名1室 72,000円	1名1室 75,000円

■食事 / 朝1回・昼2回 (内、弁当1回) ■利用バス会社 / 廿日市交通

行程

広島駅新幹線口 (8:00) = 福山SA (8:50) = 岡山駅 → 下津井祇園神社 → 下津井町並み保存地区散策 → 旧萩野家母屋・鯨蔵など = (昼食 / 鯛めし御膳) → 鞆の浦町並み散策 (日本最大級の常夜燈 → 雁木跡 → 朝鮮通信使ゆかりの寺・対潮楼など) = 尾道市内 (泊)

ホテル = 浄土寺 → 浜の小道 → 中浜通り → 住吉神社 → 雁木跡など = 伝統保存地区 竹原の町並み散策 (旧吉井家など) = 竹原港 ~ 白水港 = 明石港 → 小長港 = 乙女座 → 若胡子屋跡 → 御手洗天満神社など = とびしま海道 = 安芸津大橋 = 安芸津散策 (八幡宮など) = 広島駅新幹線口 (18:00)

泊まる [尾道市内] 尾道第一ホテル
尾道駅近くの瀬戸内海から降り注ぐ朝日が快適なホテル。
■客室タイプ / 洋室 (シングルまたはツイン)

第四話 瀬戸内海・天然の良港から日本海へ 上関港・室積・下関港・萩港そして浜田港

2日間

瀬戸内海・周防灘からいよいよ日本海へ萩藩の天然の良港 上関・室積・下関・萩港・浜田港を訪ねる!

出発日 (2026年) **12月8日(火) 限定**

旅行代金 (大人お一人様)	ツアーコード: DY26CL-KKJ4
2名1室 75,000円	1名1室 78,000円

■食事 / 朝1回・昼2回 ■利用バス会社 / 廿日市交通

行程

広島駅新幹線口 (8:00) = 上関港 = 旧上関番所跡 → 御茶屋跡 → 常夜燈など = 廻船問屋 → ふるさと郷土館など = (昼食 / 海鮮丼) = 御舟倉庫跡 → 三田尻御茶屋跡など = 下関市内 (泊)

ホテル = 日和山公園 → 御船倉 → 浜崎魚市場 → 住吉神社など = (昼食 / 見聞牛ハンバーグステーキセット) = 松原町の町並み散策 → 浜田城資料館など = 広島駅新幹線口 (17:30)

泊まる [下関市内] 東横INN 下関海峡ゆめタワー前
下関のシンボル、海峡ゆめタワー近くに佇むホテル。
■客室タイプ / 洋室 (シングルまたはツイン)